

2024年1月26日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について  
(西日本旅客鉄道株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、西日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:長谷川一明、以下「JR 西日本」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」)(※1)等が定めた「グリーンローン原則」に則したシンジケーション方式の「グリーンローン」の融資契約(以下「本件」)を組成いたしました。

グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートイングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

JR 西日本は、「サステナビリティローン・フレームワーク(以下、本フレームワーク)」を策定し、2024年1月26日付で株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:山崎 宏)より、グリーンローン原則等に適合していることについてセカンドオピニオン(※2)を取得しています。なお、本件は本フレームワークに即したグリーンローンの融資契約です。

当社では、グリーンローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

<JR 西日本グループについて>

JR 西日本グループは、社会インフラを担う企業グループとして、長期ビジョンに「安全、安心で、人と地球にやさしい交通」や「持続可能な社会」を掲げ、環境をはじめとするサステナビリティの取り組みを推進しています。


なかでも気候変動については、その対応を将来にわたっての事業継続のための重要な経営課題であると認識し、リスクに対処するとともに、環境にやさしい輸送手段である鉄道の強みをさらに磨き、地域の皆様やお客様に鉄道の環境優位性を広くお伝えすることを通じて、脱炭素社会に向けた行動変容を促し、それを機会として最大限に活かしつつ、グループの事業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

<本件(シンジケートローン)の概要>

契約締結日	2024年1月24日
アレンジャー兼エージェント	当社
組成金額	200億円
資金使途(グリーンプロジェクト)	225系近郊形直流電車、227系近郊形直流電車、273系特急形直流電車、N700S新幹線電車導入に係る費用

<資金使途(グリーンプロジェクト)の概要>

JR西日本は、本件により調達した資金を、本フレームワークに基づく下記プロジェクトに充当いたします。

グリーン適格プロジェクト	環境面への便益	GLP事業区分
<b>【グリーン適格クライテリア】 鉄道車両導入</b>		
在来線 新型車両の導入 ・225系近郊形直流電車  ・227系近郊形直流電車  ・273系特急形直流電車 	[エネルギー効率の向上・省エネ化] <ul style="list-style-type: none"> <li>ブレーキ時のエネルギーを最大限に回生し、電気エネルギーに換えるエネルギー変換効率に優れたVVVF制御装置や一部車両には更にエネルギー損失の少ない次世代半導体「SiC素子」の駆動システムを採用することにより、エネルギー消費が改善</li> <li>室内灯LED照明の採用、LED式車内表示装置など省エネ型設備を採用することで省エネ化を推進</li> </ul>	クリーン輸送
山陽新幹線 新型車両の導入 ・N700S新幹線電車 	[エネルギー効率の向上・省エネ化] <ul style="list-style-type: none"> <li>走行抵抗を低減した先頭形状(デュアルスプリームウイング形)の採用や、次世代半導体「SiC素子」の駆動システムへの採用により、エネルギー消費が改善</li> </ul>	

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2) グリーンローン原則への適合についてのセカンドオピニオン

株式会社格付投資情報センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以 上